

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年11月27日

喫煙は新型コロナ感染による敗血症発生と死亡の強力なリスクファクター

【松崎雑感】

新型コロナに感染して、ショック、呼吸不全状態、炎症反応悪化となった場合、喫煙ありの患者では、敗血症発症、死亡のリスクが高まるという研究結果です。糖尿病、高血圧などのスタンダードな基礎疾患を追い抜いて、「喫煙あり」が死亡に大きくかかわると解釈できます。

今からでも遅くありません。すべてのタバコ製品使用をやめましょう！

喫煙は新型コロナウイルス感染による敗血症発生と死亡の強力なリスクファクター

Abumayyaleh M, et al. **Sepsis of Patients Infected by SARS-CoV-2: Real-World Experience From the International HOPE-COVID-19-Registry and Validation of HOPE Sepsis Score.** *Front Med (Lausanne)*. 2021 Oct 14;8:728102. doi: 10.3389/fmed.2021.728102. PMID: 34805199; PMCID: PMC8603931.

国際的データベースに基づいた研究。5837名の新型コロナウイルス感染者から624名の敗血症が発症。

敗血症発症オッズ比は、喫煙2.72、高血圧2.13、糖尿病1.60、腎不全2.19、心臓病既往1.71、がんの既往1.90、免疫低下疾患治療2.46であり、明らかな重症の基礎疾患を持つ人々よりも喫煙者であることが、敗血症発症オッズを高めていた。

喫煙、頻呼吸(22回以上/分)、血痰、酸素飽和度低下(<92%)、収縮期血圧低下(<90)、グラスゴー・コーマ・スケール(<15)、プロカルシトニン増加、トロポニンT増加、クレアチニン増加(>1.5mg/dl)の9項目が敗血症発症の有意な独立因子と判明。

生命予後との関連を計測し、血痰ありを2点、他の8項目を1点としたスコアリングを行ったところ、2点以下と3点以上群で明らかに予後が大きく分かれた。

敗血症スコア9項目中、喫煙以外の8項目はすべて重症の呼吸不全循環不全の所見だった。喫煙あり(1点)に血痰(2点)あるいはそれ以外の2項目が合致した場合、発病40日後までにほとんどの患者が死亡するグループに分類された。喫煙の敗血症死亡に関与する度合いが大きいことが明らかとなった。

HOPE SEPSIS SCORE ESTIMATING THE RISK OF SEPSIS IN COVID-19

low 0-2
intermediate 3-5
high 6-10



新型コロナに続発した敗血症患者の生存率

